

令和 元 年度 (第15期) 事業報告

令和 元 年度 (第15期) 決算報告

令和 2 年度 (第16期) 事業計画

令和 2 年度 (第16期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第 15 期 事 業 報 告

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稲の生産を行うとともに、水田型市民農園の運営及び自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務に取り組んでまいりました。

船形地区においては、生産調整事業である麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター施設管理業務、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運営施設管理業務、新規就農支援事業業務等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

しかし、今年度も台風や大雨の影響で、船形地区の大豆や江川地区の水稲に大きな被害が発生し、一部の作物について収穫減となりました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稲の生産

江川地区の水田については、田んぼの均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

しかし、今年度も圃場の状況が悪く、一部で収穫を断念した状況でした。

また、すべて 2 等米ではありますが、前年度比 103 パーセントの収穫量を得ることができました。

今年度の総収穫量は次のとおりです。

品 種 名	収 穫 量	JA 出荷米	市民農園配布	一般販売	その他
コシヒカリ	10,665kg	1 等 0kg 2 等 6,518kg	2,173kg	979kg	995kg

(2) 水田型市民農園

市民農園はファミリー型、オーナー型の 2 種類を企画し田植え、草取り、稲刈りまでの技術指導や自然体験イベント、ホタル観察会、収穫祭等を行い自然環境に配慮した市民農園を運営してまいりました。

今年度の市民農園の結果については下記のとおりです。

水田ファミリー型	水田オーナー型
136 区画	19 区画
公募による一般市民及び賛同者 (1 区画当り 30 m ²)	NPO ちば支援センター 自然保護団体関係者等 (1 区画当り 150 m ²)
136 名	349 名
合計	485 名

(3) 農業体験学習等協力

1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

米作り農業体験学習として、福田第一小学校児童 5 年生 1 2 名、福田第二小学校児童 5 年生 6 名、合計で 1 8 名を対象に田植え・生育調査・稲刈りを体験学習として実施いたしました。

2) 地元中学校スペシャルスタディー協力

福田中学校 2 年生が 1 年間を通し、江川地区をフィールドに理科の体験学習として行っているスペシャルスタディーに協力をいたしました。

2 船形地区の農業事業

(1) 農業生産調整事業

令和 2 年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション(ブロック 2)及び固定団地併せて約 6 2 . 3 h a の水田を船形互助転作組合との協議により借地いたしました。

また、借地期間は 1 年とし、毎年 1 0 月 1 日から翌年 9 月 3 0 日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については更に翌年 2 月頃まで借用します。

(2) 農業生産

1) 麦栽培

令和元産麦については、大麦は約 1 0 . 5 h a に、小麦は約 4 4 . 4 h a にそれぞれ播種し、令和元年 5 月から 6 月にかけて刈り取り作業を行いました。

区分		J A 出荷	種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積				
大麦(かみん)	約 10.5ha	1 等 27t	0t	0.54t	27.54t
小麦(さとのそら)	約 44.4ha	1 等 204t 2 等 25.56t	0t	2.3t	231.86t
合 計	約 54.9ha	256.56t	0t	2.84t	259.40t

2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを 1 5 . 5 h a に、フクユタカを 8 . 7 h a に、サチユタカを 7 . 9 h a にそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤の散布、アブラムシ、ダニ類、コガネムシ、カメムシが発生したため防除等、生育状況に合わせた管理を行いました。

その後、台風 1 5 号と大雨の影響で 3 度の冠水があり、フクユタカについては一部倒伏し、開花時期とも重なり、生育不良となりました。

収穫作業については、タチナガハは 1 1 月 2 2 日から 1 2 月 1 5 日、サチユタカは 1 2 月 1 8 日から 1 2 月 2 0 日、フクユタカは 1 2 月 2 1 日から 1 2 月 2 7 日に収穫を行いました。

単位：k g

区 分		販 売		種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積	J A 出荷	小 売			
タチナガハ	15.5ha	3等 16,890 合格 2,010	780	0	6,000	25,680
フクユタカ	8.7ha	3等 6,450 合格 1,710	142	38	2,000	10,340
サチユタカ	7.9ha	3等 3,060 合格 3,570	1,080	660	5,250	13,620
合 計	32.1ha	33,690	2,002	698	13,250	49,640

ア ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.6ha

ブロック2 約57.1ha

ブロック3 約67.8ha

イ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ha

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務委託

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

更に、新たな取り組みとして、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から12月には飼料用米の粳米を粉碎し、SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施いたしました。

搬入量

・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・約4,771トン

・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約 704トン

搬出・運搬量

・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約1,910トン

・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・約 864トン

飼料用米粉砕加工（SGS）

・一般米（加工量）・・・・・・・・・・約 34トン

・専用米（加工量）・・・・・・・・・・約130トン

なお、堆肥センターにつきましては新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館は野田市の指示により実施しておりません。

(2) 東葛飾地域農林業センター運營業務委託

農林業センターの目的は、地域農林振興を図り、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進することから、目的達成のため施設の管理を行ってまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、野田市からの指示により2月29日(土)から東葛飾地域農林業センターは臨時休館となりました。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できるよう施設の管理を行ってまいりました。

園内の管理	受託面積 約1.3ha
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) 江川地区自然環境維持管理業務

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) はきだし沼周辺田の整地業務

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀ビオトープの除草作業3回及び月1回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

(5) 江川地区保全業務受託事業

減反政策中止に伴う野田市からの受託事業で、当社所有地及び耕作をしていない周辺の農地約47haにおいて、コウノトリなどの採餌環境を整備いたしました。

(6) 尾崎地区保全業務受託事業

尾崎地区の生物多様性の保全を推進するため、良好な自然環境を回復させるための除草作業を実施しました。

5 コウノトリ飼育及び施設管理業務委託

平成31年4月1日から令和2年3月31日までコウノトリ飼育等業務を受託し、国の特別天然記念物コウノトリの飼育管理を行うとともに、産卵、孵化、育雛等飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

特に、多摩動物公園から譲り受けた有精卵から孵化した雛2羽を巣立たせるため、7月3日に野田市こうのとりの里で放鳥が行われました。

放鳥する雛は、「カズ」「レイ」と命名され、2羽を育てた「コウくん」と「コウちゃん」がいるケージの屋根を開放し、雛は自然に飛んでいき、ケージに戻ってくることもできるソフトリリースの方式で放鳥を行いました。

雛は放鳥当日にケージを飛び立ち、その後、約1か月間江川地区に滞在しました。江川地区を離れる数日前には、平成29年に放鳥した「ヤマト」、徳島県鳴門市の電信柱上の巣から巣立ちした「歌」、平成28年放鳥の「ひかる」と合流し、こうのとりの里周辺で5羽のコウノトリを観察することができました。「カズ」「レイ」は、「ひかる」「歌」と一緒に渡良瀬遊水地に一時滞在した後、2羽は野田市木間ヶ瀬地区で約2か月間滞在しました。

今年度は、昨年度より遅い令和2年2月15日に1卵目の産卵を確認いたしました。が、「コウくん」が卵を投げ捨て破卵してしまいました。その後、擬卵の設置を行い、抱卵を促しました。2月28日までに5卵を産卵し、後日擬卵と交換して、托卵に備えました。

3月より「ヤマト」が隣のケージの上に巣作りを始めたため、「コウくん」と「コウちゃん」の抱卵と今後の育雛に配慮し、巣材の撤去を行いました。

なお、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの、コウノトリ観察棟入場者は5,596名（来館名簿記入者）でした。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、野田市からの指示により2月29日（土）からこうのとりの里は臨時休館となりました。

6 新規就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産野菜は、人参、キャベツ、モロヘイヤ、ネギ、ミニトマト、キュウリ、ナス、パプリカ、ズッキーニ、トウモロコシを栽培し総収量63,912kgをJA出荷及び市内直売所へ出荷しました。

また、人参は5月中旬の出荷を目標に播種しました。

更に、野田市農産物ブランド化推進協議会から開設依頼により令和元年度も枝豆オーナー制度に係る農園を開設致しました。

- ・就農希望者延べ人数5名

7 取締役及び他の役員（第15期 令和元年度）

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	今村 繁	野田市副市長
常 務 取 締 役	木全 敏夫	
取 締 役	佐藤 眞平	野田市建設局長
取 締 役	山下 敏也	野田市自然経済推進部長
取 締 役	伊藤 敏弘	
取 締 役	菅澤 治	令和元年10月30日辞任
取 締 役	相島 一美	
取 締 役	永井 盛雄	令和元年11月1日就任
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

8 株式の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 株主数…………… 5名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
木全 敏夫	2株	0.0322%
相島 一美	1株	0.0161%
伊藤 敏弘	1株	0.0161%
永井 盛雄	1株	0.0161%

9 経過概要

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜 日	主 な 経 過 概 要
4月 6日	土	コウノトリ雛2羽誕生
4月28日	日	江川地区市民農園田植え
5月 9日	木	福田第一・第二小学校 体験学習 田植え
5月22日	火	大麦刈取開始
5月22日	火	定時取締役会(第14期事業報告及び決算報告書の承認の件、就業規則一部改定の件、準社員及びパートタイマー等就業規則一部改訂の件、定時株主総会の招集の件)
5月29日	水	定時株主総会(第14期事業報告及び決算報告書の承認の件、役員報酬の決定の件)
5月30日	木	宮崎小学校3年生 コウノトリ見学
6月 1日	金	大麦刈取終了
6月 2日	土	小麦刈取開始 市民農園 草取り及び自然観察会
6月28日	月	小麦刈取終了
6月29日	水	コウノトリ一斉捕獲
7月 2日	火	福田第一・福田第二小学校 体験学習稲生育観察及び生き物調査
7月 3日	水	コウノトリ命名「レイ」・「カズ」及び放鳥
7月29日	月	船形互助転作組合総会
8月 4日	日	市民農園 ホタル観察会
8月26日	月	8月定時取締役会 第15期第1四半期事業報告
9月 1日	日	市民農園 稲刈り
9月 3日	火	施設見学会 コウノトリ見学(広報広聴課)
9月 6日	金	福田第一・第二小学校 体験学習 稲刈り
9月10日	火	南部小学校4年生 コウノトリ見学
9月18日	水	東部小学校4年生 コウノトリ見学
9月29日	日	利根運河の生態系を守る会タカの渡り観察会協力
10月 6日	日	市民農園 収穫祭
10月14日 ～15日	祝	2019 越前市コウノトリが舞う里づくり大作戦 ポスターセッション参加
10月26日	土	いきいきクラブ福田支部 コウノトリ見学 約40名
10月30日	水	臨時取締役会 取締役辞任の件・取締役候補者の選定の件・株主譲渡承認請求の件・臨時株主総会招集の件・臨時株主総会 取締役1名選任の件
11月 9日	土	福田中学校2年生フィールドワーク協力
11月21日	木	11月定例取締役会 第15期第2四半期 事業報告・経営状況報告・令和2年度市民農園募集の件
11月26日	火	千葉県東葛地区統計研修会(江川地区視察・コウノトリ見学)
11月28日	火	関宿小学校3年生 コウノトリ見学・散策
12月21日	土	みどりのふるさとづくり実行委員会ミニ門松作り協力
1月30日	木	夷隅地域男女共同参画 江川地区視察 約20名
2月22日	金	福田中学校2年生フィールドワーク協力
2月29日	土	コロナウイルス感染拡大防止対策のため、コウノトリの里及び東葛飾地域農林業センター臨時休館
3月27日	火	定時取締役会(第15期第3四半期事業報告の件、取締役辞任の件、第16期事業計画及び予算承認の件、取締役兼準社員1名を常勤取締役とする件)

第 1 5 期

決 算 報 告 書

平成 3 1 年 4 月 1 日 から

令和 2 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム
(法 人 番 号 : 5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 2年 3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	(134,713,917)	流動負債	(54,872,887)
現金及び預金	97,801,185	未払金	19,380,658
売掛金	56,652	未払費用	3,772,955
たな卸資産	21,742,441	未払法人税等	218,500
前払費用	47,550	未払消費税等	986,900
未収入金	14,644,311	前受金	27,464,892
営業安定積立金	445,778	仮受金	632,982
貸倒引当金	24,000	賞与引当金	2,416,000
固定資産	(244,299,119)	固定負債	(20,400,000)
有形固定資産	(244,159,729)	長期借入金	15,600,000
建物	33,255,081	退職給付引当金	3,900,000
構築物	2,555,756	農業経営基盤強化準備金	900,000
機械及び装置	23,736,173		
車両運搬具	1,959,742		
工具、器具及び備品	2,125,889		
建物附属設備	5,500,799		
土地	174,908,745		
一括償却資産	117,544		
無形固定資産	(50,000)	負債の部合計	75,272,887
保証金	50,000	(純資産の部)	
投資その他の資産	(89,390)	株主資本	(303,773,961)
出資	10,000	1. 資本金	100,000,000
敷金	10,000	2. 資本剰余金	183,032,296
長期前払費用	69,390	(1) 資本準備金	155,275,000
		(2) その他資本剰余金	27,757,296
		その他資本剰余金	27,757,296
		3. 利益剰余金	20,741,665
		(1) その他利益剰余金	20,741,665
		繰越利益剰余金	20,741,665
		評価・換算差額等	(0)
繰延資産	(33,812)	新株予約権	(0)
水道加入金	33,812		
資産の部合計	379,046,848	純資産の部合計	303,773,961
		負債・純資産の部合計	379,046,848

損益計算書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
売上高	18,906,307		
農業物産売上高	113,628,896		
市民農園収入等	1,211,119		
作付助成金・交付金収入	84,191,143	217,937,465	217,937,465
売期首		0	
当期首		198,101,316	
当期末		198,101,316	
期首		0	198,101,316
売上原価			19,836,149
販売費及び一般管理費		37,694,830	37,694,830
営業外収入			17,858,681
受取補助金		2,852	
受取配当		4,191,200	
雑収入		50	
		18,486,111	22,680,213
営業外費用			
支払利息		30,470	
繰延資産償却		17,638	48,108
経常利益			4,773,424
特別利益			
農業経営基盤強化準備金戻		2,500,000	
貸倒引当金戻		45,000	2,545,000
特別損失			
固定資産売却除却損		882,617	
農業経営基盤強化準備金繰		900,000	
過年度就農支援補助金返		630,589	
特別償却費		3,316,144	5,729,350
税引前当期純利益			1,589,074
法人税、住民税及び事業税		634,733	634,733
当期純利益			954,341

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成 31 年 4 月 1 日 から
令和 2 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	37,000
発 送 配 達 費	490,186
会 議 費	14,815
販 売 手 数 料	738,456
イ ベ ン ト 費	473,957
役 員 報 酬	6,886,540
事 務 員 給 与	14,546,782
従 業 員 賞 与	2,043,000
法 定 福 利 費	2,516,078
厚 生 費	120,301
退 職 金	266,000
減 価 償 却 費	146,476
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	1,142,668
修 繕 費	18,000
事 務 用 消 耗 品 費	1,384,950
通 信 費	2,111,870
水 道 光 熱 費	246,110
租 税 公 課	257,103
接 待 交 際 費	31,952
保 険 料	60,690
備 品 消 耗 品 費	1,724,427
管 理 諸 費	1,620,912
一 般 車 両 関 係 費	211,008
交 通 費	351,671
雑 費	253,878
合 計	37,694,830

たな卸資産の計算内訳

令和 2 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	67,914
原 材 料	122,387
未 収 穫 農 産 物	12,466,821
貯 蔵 品	9,085,319
合 計	21,742,441

農 業 原 価 報 告 書

平成 31 年 4 月 1 日 から
令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額
材 料 費	
期首材料たな卸高	155,487
種 苗 費	3,450,485
合計	3,605,972
期末材料たな卸高	122,387
当期材料費	3,483,585
労 務 費	
賃 金	68,488,705
賞 与	8,937,000
退 職 金	304,000
法定福利費	13,190,356
厚生費	1,913,547
当期労務費	92,833,608
経 費	
肥料費・農薬衛生費	11,577,878
外注作業費	90,764
電力費	2,649,359
軽灯油等燃料費	11,268,824
運賃	39,729
減価償却費	17,230,697
修繕費	17,227,279
租税公課・負担金	1,018,700
賃借料・リース料	22,708,572
共済掛金・保険料	1,664,150
諸 資 材 費	11,466,715
農 具 費	476,539
交 通 費	1,522,075
図書費・研修費	671,713
車両関係費	1,864,781
土地改良費・水利費	2,084,509
雑 費	786,225
当期経費	104,348,509
当期総農業費用	200,665,702
期首農産物等棚卸高	9,970,349
合計	210,636,051
期末農産物等棚卸高	12,534,735
当期農業原価	198,101,316

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第15期(自平成31年4月1日
至令和2年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書に
ついて監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処理
されていると認めます。

令和2年5月14日

株式会社野田自然共生ファーム

監査役 瀬田 宏志  印

第16期 事業計画

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園及び自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

船形地区においては、麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

また、就農支援事業においても人参、枝豆、キャベツを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

さらに、野田市からの委託事業として、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務、農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く、作付けが困難な状況ですが引き続き圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

- 1) 作業内容 除草作業
- 水路の整備作業
- 均平・整地作業
- 畦畔整備作業

(2) 水稻生産

- 1) 生産目標面積 約 5.5ヘクタール(市民農園圃場含む)
- 2) 目標収穫量 約 9トン

(3) 市民農園の実施

- 面積 約 2.1ヘクタール
- 募集内容 ファミリー型 500区画 オーナー型 40区画

(4) エコロジカルネットワークへの取り組み

- コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 水路整備(魚道整備含む)
- 里地里山の保全

(5) 江川地区保全業務

当社所有農地で、耕作をしていない約 2.5 ヘクタールの農地及びその周辺の民地で耕作をしていない農地、約 4.7 ヘクタールにおいて自然環境保護のための整備を行ってまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年 2 回
研修会	社内外研修会	年 4 回程度
販路の拡大	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
令和元年産麦生産目標 (令和 2 年 6 月収穫予定)	作付面積	6.2 ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	1.2.6 ヘクタール
	小麦(さとのそら)	4.9.6 ヘクタール
	目標収穫量	1.8.3 トン
	大麦	3.3 トン
	小麦	1.5.0 トン
令和 2 年産麦生産目標 (令和 2 年 1 1 月播種予定)	作付面積	7.3 ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	1.5 ヘクタール
	小麦(さとのそら)	5.8 ヘクタール
令和 2 年産大豆生産目標 (令和 2 年 1 2 月収穫予定)	作付面積	3.7.0 ヘクタール
	タチナガハ	1.3.1 ヘクタール
	フクユタカ	1.1.6 ヘクタール
	サチユタカ	1.2.3 ヘクタール
	目標収穫量	4.8 トン
	タチナガハ	1.6 トン
	フクユタカ	1.6 トン
	サチユタカ	1.6 トン

3 農業関係施設の運營業務

(1) 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布、また、稲わら牛ふん堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、麦SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業の協力も含め、令和2年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

(2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務

地域の農林振興を図るため、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。令和2年度も継続して受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 自然環境維持管理業務

江川地区の自然環境維持管理について、「自然環境保護対策基本計画」に基づき、今年度同様に受託しようとするものです。

(2) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行ってまいりました。令和2年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(3) 休耕地草刈業務

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について、令和2年度も継続して受託しようとするものです。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務

平成27年度から受託しており、年3回の草刈及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、令和2年度も継続して受託しようとするものです。

(5) 尾崎地区保全業務委託事業

尾崎地区の生物多様性の保全を推進するため、良好な自然環境を回復させることを目的に尾崎地区保全業務を令和2年度も継続して受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、毎年幼鳥が孵化し、5年連続で放鳥するなど順調に飼育管理をしてまいりました。

令和2年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

6 就農支援事業

人参、枝豆、キャベツを中心とした栽培を計画しております。

作付けする面積については、約3.0ヘクタールを借地しておりますが、栽培の状況に応じて更に面積を拡大しようとするもので、売上は年間580万円を目標としております。

また、野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、令和2年度も枝豆オーナー制度に係わる農園を継続開設しようとするものです。

第16期 予算

					自 令和2年4月 1日					
					至 令和3年3月31日			単位:千円		
収入					支出					
項目		予算額			項目		予算額			
		第15期	第16期	比較			第15期	第16期	比較	
1	農業生産売上	48,041	48,737	696	1	農業製造原価	211,579	208,319	-3,260	
	(1) 水稲売上	2,000	2,000	0	(1)	材料費	2,700	2,700	0	
	(2) 麦売上	2,800	2,800	0	(2)	労務費	40,059	36,641	-3,418	
	(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3)	農業経費	46,797	46,848	51	
	(4) 市民農園売上	500	1,200	700		肥料費・農業衛生費	8,230	10,483	2,253	
	(5) 経営所得安定対策等(国)	35,741	35,737	-4		電力費	1,091	1,084	-7	
2	農業受託売上	131,092	132,807	1,715		軽灯油等燃料費	2,727	3,893	1,166	
受託業務	小船橋水辺公園管理	1,549	1,564	15		修繕費	4,039	3,707	-332	
	自然環境維持管理業務	3,227	7,408	4,181		賃借料・リース料	1,129	1,000	-129	
	堆肥センター運営業務	101,916	103,106	1,190		共済掛金・保険料	1,790	1,787	-3	
	(堆肥センター)	57,590	56,613	-977		麦団地賃借料	21,000	18,000	-3,000	
	(もみ殻施設)	44,326	46,493	2,167		土地改良費・水利権	2,085	2,085	0	
	農林業センター運営業務	2,135	2,390	255		その他	4,706	4,809	103	
	休耕地草刈等	5,430	1,353	-4,077	(4)	小船橋水辺公園	1,469	1,484	15	
	コウノトリ飼育等委託業務	15,873	16,019	146	(5)	自然環境維持	3,059	7,028	3,969	
	冬期湛水水田管理委託	600	600	0	(6)	堆肥センター	96,672	96,722	50	
	閑宿落堀ピオトープ管理業務	362	367	5	(7)	休耕地草刈等	5,430	1,353	-4,077	
3	補助金収入	25,562	25,644	82	(8)	コウノトリ飼育等	15,049	15,195	146	
(1)	県補助金	6,070	6,152	82	(9)	閑宿落堀ピオトープ	344	348	4	
(2)	市補助金	0	0	0	2	販売及び一般管理費	20,078	19,156	-922	
(3)	就農支援事業	19,492	19,492	0	(1)	農林業センター	2,135	2,390	255	
(4)	転作定着化促進事業	0	0	0	(2)	人件費等	13,565	11,825	-1,740	
(5)	地上防除奨励金・薬剤購入補助金	0	0	0	(3)	その他	4,378	4,942	564	
4	雑収入	13,800	13,800	0						
	補償料等	13,800	13,800	0						
	小計	218,495	220,988	2,493	小計	231,657	227,476	-4,181		
5	資本金 資本準備金	43,212	39,438	-3,774	3	就農支援事業費	19,492	19,492	0	
					4	退職金積立金	650	552	-98	
					5	機械購入費	9,908	12,906	2,998	
					6	農地取得費	0	0	0	
	小計	43,212	39,438	-3,774	小計	30,050	32,950	2,900		
	合計	261,707	260,426	-1,281	合計	261,707	260,426	-1,281		